



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



遠足楽しかったよ♪



ふれあい遠足に
行ってきました!



●はぐ・しろくま

5月18日(金)に久留米市の「青少年科学館」「中央公園」に遠足に行ってきました。午前中は広い芝生の上でパラバルーン、クラス対抗そりりレー、長縄、ボール、しゃぼん玉と、たくさん身体を動かして遊びました。そりりレーではお父さんお母さんの猛ダッシュに子どもたちは笑顔いっぱいでした。お昼からは科学館の見学をしました。それぞれ好きな体験コーナーを見つけて、見る・触る・聴くと色々な刺激を受けた一日でした。
(児童指導員 立山)

5月25日(金)に毎年恒例の「夜須高原自然の森」に遠足に行きました。グループ毎にバスに乗り、車内では先生たちの工夫を凝らしたレクレーションを楽しみました。

大きなローラー滑り台(ヤスゴン)に繰り返し登っては滑ってくるお友だち、そんな様子を見て“やってみようかな”とチャレンジするお友だち、砂場やシャボン玉でじっくり遊ぶお友だちと、それぞれのペースでたくさん遊びました。昨年は登れなかったヤスゴンに登っていく姿やお友だちと遊ぶ姿に成長を感じられました。

愛情たっぷりのお弁当も食べて楽しい一日となりました。

(保育士 妹川)

心の窓



べあクラフ 瑞樹さん



1998年12月生まれ、今年21歳になります。

早産で、超低体重児で生まれ、不安と心配の日々が続きました。この先どうなるのか、育てていけるのかと、悩む悲しい日々を送っておりました。

ある時は、面会に行くときと身体中を機械に繋がられる事が多かったですが、病院の先生達や看護師さんや色んな人達に助けを頂き、無事に退院する事が出来ました。

退院後しばらく自宅で過ごしておりましたが、主治医の先生にこぐま学園を紹介してもらい、個別指導を受ける様になり、グループ参加し、色んな先生に関わってもらい、頭の下がる思いでした。真剣に指導してもらい、アドバイスを頂きながら学校を田主丸特別支援学校に決め、入学しました。

また不安だらけの毎日でしたが、先生達の指導や関わり方、様々に接する事で、笑わなかったのが笑顔が出てきた時は嬉しかったです。高等部の修学旅行は、東京・デイズ・ニールンDに行きました。事前学習して行ったので、音楽がなるとニコニコでした。先生達もびっくりされていた事を思い出しました。

学校を卒業後、大人の仲間入りで、体に変化が出て来ました。何も言わないけど、体に敏感に感じていました。今は大分慣れて、楽しく過ごしています。看護師さんの声を聞くと目を開けたりして、時々びっくりして起きたりして刺激をもらっています。

まだまだ手が掛かりますが、御指導よろしく願います。
(瑞樹の母)

カラオケ大会
楽しかったです♪



こぐまLINE



生活支援員 井口

皆さんこんにちは。おとな支援部の生活介護事業所「愛らんど」で生活支援員をさせて頂いていただいています。井口と申します。初めましての方もいらつしやると思いますが、少し私の自己紹介をいたします。

私は佐賀市で生まれました。3歳の時に家具で有名な大川市の祖父父母宅に引越し、大学卒業まで大川市で暮らしていました。

趣味は音楽鑑賞と旅行で、音楽は洋楽や邦楽を広く浅く、旅行は車で広島まで一人観光に行ってみたり、仲の良い友人達とベトナムやタイなどへ海外旅行に行きました。

中学と高校では野球部に所属し、大学のサークルではフリスビーを使ったスポーツ、「アルティメットデイスクスポート」に所属していました。仲間と共に汗を流し、充実した学生生活を過ごすことができましたと思っています。

大学は福祉系大学である西九州大学で社会福祉について学ばせていただきました。また、放課後等

デイサービスのアルバイトをしております、その経験や、大学4年間で学んだ「福祉」のことを将来に生かして仕事をしたいと考えておりました。そして大学卒業後、こぐま福祉会の一員となり、生活支援員として今、働いています。

入職して1年目は大学で学んだこと、放課後等デイサービスのアルバイトで学んだことを生かそうと思いい業務に励みましたが、うまくいかず失敗ばかりしてしまいました。後悔ばかりで「何である支援をしまったのだろう」

「この仕事を続けていけるのだろうか」と不安に思う毎日でした。しかし、支援させていただいた利用者様の明るさや日々の笑顔を見ると、そんな不安も吹き飛び、自分も明るい気持ちで業務に励むことができました。

また、上司をはじめ職場の先輩方にも支えていただき、支援方法についての指導を受けながら少しずつ支援員として成長できているのかなと感じています。

こぐま福祉会の職員となり3年目になりましたが、まだまだ未熟な部分がたくさんあります。これから利用者様のことを第一に考えながら業務に取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

事業紹介



【診療所 リハビリテーション課】

リハビリテーション課は、理学療法（STPT）、作業療法（OT）、言語聴覚療法（ST）、心理の4職種から構成されています。

対象や目的は職種で異なりますが、PTでは乳幼児から成人までを対象に、運動発達の促進や歩行器や車椅子を使用した移動の支援、身体の変形や呼吸障害に対するリハを実施しております。OT、STは主に幼児期から小学校低学年を対象にしております。OTでは食事や着替えなどの日常生活動作やハサミなど道具の操作練習、また、運動が苦手なお子様には縄跳びや平均台渡りなど運動練習を行っています。STでは乳児も含めて哺乳、摂食に対する支援や様々なアイテムを用いたコミュニケーション練習なども行っています。心理は知能検査や発達検査の他、心理相談、保護者支援としてのペアレントトレーニングも行っています。

生活や子育ての悩みに対応し、子ども達の「できた!」「楽しい!」を一つでも多くお手伝いしていきたいと考えています。(理学療法士 田中)



【生活介護 愛らんど】

主に知的・発達障がいの方を対象に日中活動支援を行っています。

個別プログラムでは、利用者様に応じた作業(プットイン・マッチング等)を提供しています。毎週金曜日は、運動プログラムとして、夏はプール、冬は筋トレやストレッチ、マラソン等に取り組み、『健康・体力維持』に努めています。又、週3回のウォーキングを行い、運動する機会を多く作っています。クッキングやドライブ、旅行、スポーツ大会参加等も行っています。「愛らんどに行くのが楽しみ!」と思っ頂けるような環境作りを行っています。

【生活介護 へあクラブ】

身体障がいや医療ケアの必要な方を対象とした日中活動支援を行っています。午前中は、運動系の活動や制作等の集団活動を行っています。午後は、それぞれに合わせた個別活動で、季節の制作、リラックスタイムを作っています。機能訓練や健康管理にも力を入れています。季節行事やスポーツ大会、社会体験等、多彩な経験を楽しんで頂けるべあクラブにしたいと思います!



愛らんど



べあクラブ

【就労移行支援事業 Work Step】

就職する事を目標に、社会人として必要な知識やマナー等を身につけ、職場見学や実習を通して、自分の強みや伸ばしたい所を見つけます。

また、企業の合同面談会や就労セミナー等を通して、企業や関係機関、就労されている先輩達らの話を聞くことで、自分を知り自分を活かせる職場探しに役立てています。就労後も必要に応じてフォローを行い、就労の定着に繋がっています。

【就労継続支援B型事業 Smile Work】

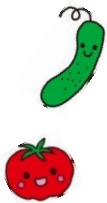
就労継続支援B型事業所として、昨年の7月に開所しました。主にポップコーンの製造を行っています。「仕事」が生活の喜びや幸せの源になればの気持ちで楽しく作業しています。出来上がった商品は、ロビーにて販売しております。どうぞご利用ください。(生活支援員 赤司)



WorkStep



SmileWork



特別支援学校見学報告

毎年6月頃に次年度就学予定のお子様の保護者の方を対象に、特別支援学校の見学会を実施しております。今年度は、久留米特別支援学校、太宰府特別支援学校、小郡特別支援学校へ見学に行ってきました。今年もたくさんの方の保護者の方が参加されました。

見学会では、担当の先生よりそれぞれの学校の教育方針や概要を伺った後、授業風景や施設を見学しました。実際に学校へ出向いて、校舎や教室等の環境面や授業風景、生徒さん方の普段の様子を見ることが、就学後のイメージが付きやすくなりました。これからもこの見学会が就学先を検討する材料のひとつになれば幸いです。(相談員 福富)

《保護者様の感想》

太宰府特別支援学校を見学して、まず広さと施設設備が整っている事に驚きました。小中高等部まであり児童一人一人の教育的ニーズに応じていて専門性の高い支援を受ける事ができていて安心できるなと思いました。視覚的支援もあり教室の中も分かりやすく集中しやすい環境ができていました。心に残っているものが、すれ違った高等部の生徒達が大きな声で挨拶する姿はとても立派でした。将来はこうなっていきたいという気持ちになりました。高等部は将来的な自立に向けての作業学習だったり、就労につながる教科学習の指導もあるという事で不安に思っている将来への道が少し見えた気がしました。見学できて本当良かったです。



避難訓練を実施しました

こぐま福祉会では、月に1回の避難訓練を行っています。5月の避難訓練では、一昨年の熊本地震、また最近でも各所での地震発生を受け、地震を想定した訓練を行いました。地震が発生した際には、身の安全を守る行動「物が落ちてこない・倒れてこない」場所に身を置き、むやみに移動せずに避難することが大切です。

これからも、毎月様々な想定をしながらの避難訓練を実施して参りますので、皆さまのご協力よろしくお願致します。

(防災安全委員 高橋佳子)

職員研修を行いました

皆さまにこぐま福祉会をより安全に利用していただくために、全職員が参加して6月29日(金)に安全対策の研修会を行いました。内容は、毎年行っている「虐待防止」に加え「水害対策」・「防犯対策」です。「虐待防止」では、虐待とはどういうものかを確認し、利用者の皆さまの人権を尊重して身体拘束にならないための対応を職員一同で見直し、理解を深めました。「水害対策」と「防犯対策」では、大雨や不審者に対しての、もしもの時の対応を職員が共通理解し、実際に想定しての訓練も行いました。

こぐま福祉会は、これからも安心して利用できる施設を目指していきます。

(事業部長 林)

交流保育を行います

「ゆう・はぐ・しろくま」の週2回以上登園のグループを利用されているお子様を対象に、各地域の幼稚園・保育園との交流保育を行います。

今年度も、26名のお子様に参加される予定で、ご協力をいただく6つの園の同年齢のクラスにて、一日を過ごさせていただきます。

例年、いつもと違う環境にドキドキするお子様もいますが、園のお友だちが誘いかけてくださる中、回を重ねるごとに園での活動を楽しむようになり見られていきます。

各園には、こぐまスタッフが担当として同行し、お子様や保護者様のフォローをさせていただきます。今年度もたくさん笑顔が見られることを期待しています。

(保育士 西本)

交流先

- 三国保育所・あじさか保育園
- 久留米天使こども園
- 真愛保育園・ごじよう保育所
- 大宰府南保育所

新入職員紹介

よしとみ かずなり
吉富 一成
(尾久保研修所作業員)

退職者紹介

高木 平和
(送迎バス運転手)

小椎尾 茂義
(尾久保研修所作業員)

小椎尾 舞
(尾久保研修所指導員)



夏まつりのお知らせ

今年も夏の恒例行事！夏まつりを開催します★焼きそば、カレーライス、かき氷等の飲食コーナーに、おぼけ屋敷や体験コーナーなど、ご家族で楽しめる催し物を多数企画しております♪お盆休み前でお忙しい時期かと思いますが、夏の思い出にご家族揃ってぜひご参加ください！

※日時※ 8月11日(土)
17時〜20時15分頃まで

※雨天決行。中止の場合は、こぐま学園ホームページにてお知らせします。(夏まつり実行委員長 牛嶋)



電子カルテ導入について

お知らせとお願ひ

平成30年8月より診療部門に電子カルテを導入いたします。所内での情報共有等、効率的な診療が可能になることで、利用者様へのサービス向上に繋がると考えております。不慣れな点などがあり、利用者様には大変ご迷惑をお掛けするかと思いますが、職員一同精一杯努めますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひ致します。

(診療所所長 塩永)



行事予定

- 7月
27日(金) 避難訓練
- 8月
3日(金) はぐ・しろくま・ゆう
ウォーターランド(合同療育)
- 11日(土) 夏まつり
- 13日(月) ~15日(水) 夏季休暇
- 16日(木) 夏まつり振替休園
- 17日(金) こぐまキャンプふれあい会
- 18日(土) ~20日(月) こぐまキャンプ
- 25日(土) 避難訓練
- 25日(土) ~26日(日) ゆうお泊り保育
- 9月
1日(土) べあクラブ親睦会
- 1日(土) ~2日(日)
はぐ・しろくまお泊り保育
- 8日(土) 愛らんど、WorkStep、
SmileWork
ときめきスポーツ大会
- 11日(火) 避難訓練
- 30日(日) 発達支援セミナー実践コース

